

JMP セミナー 参加者アンケート (2011.11.18)

1. 本日のセミナーの全体的な満足度をお聞かせ下さい。 Action

満足		12	92%
どちらかといえば満足		1	8%
どちらかといえば不満足		0	0%
不満足		0	0%
Total		13	100%

2. 今回のセミナー情報は、どのように入手されましたか？ (受講するきっかけとなったお知らせ方法を、ひとつ選択してください) Action

医学部附属臨床研究センター (KRCO) からの職員・学生あての一斉送信メール		1	8%
医学部附属臨床研究センター (KRCO) からの過去の受講者あての一斉送信メール		0	0%
北里大学大学院医療系研究科・学生への一斉送信メール		0	0%
医学部附属臨床研究センター (KRCO) のホームページ上のお知らせ		0	0%
EBM関連のメーリングリスト		0	0%
北里大学・病院内の掲示ポスター		4	31%
知人・同僚からの紹介		4	31%
医学部附属臨床研究センター (KRCO) スタッフからの紹介		3	23%
その他		1	8%
View Responses			
Total		13	100%

3. 臨床研究に関して、どのようなお立場でいらっしゃるかお聞かせください。(複数選択可) Action

研究計画書(プロトコル)作成者		6	46%
研究対象者の治療や対象者データ収集に関わる医師		5	38%
研究対象者の治療や対象者データ収集に関わるコメディカルスタッフ		6	46%
統計解析・分析担当者		2	15%
学会発表担当者		9	69%
論文執筆担当者(筆頭著者として)		7	54%
論文執筆担当者(著者の指導者として)		2	15%
研究事務局統括マネージメント担当者		0	0%
研究事務局事務担当者		0	0%
データ入力作業		1	8%
ランダム割付事務局スタッフ		1	8%
研究対象者(被験者)		0	0%
臨床研究に携わった経験はない		0	0%
その他(上記以外の役割で臨床研究に参加)		1	8%
View Responses			

4. 今回のセミナーの中で、「役にたつと思った内容」を記入してください。 Action

[View 12 Responses](#)

1	基礎的な解釈がわかった。
2	具体的な例を用いた演習、代表的な医学研究の解析はこの手法を使っているというのを関連付けて教えていただいた
3	購入したものの忙しくて自分で色々試す余裕がなく、有効に利用できていませんでした。きっかけをいただけてよかったです。
4	JMPの基本的な使用方法が分かり、とてもよかったです。Excelからのデータの取り込み、散布図などもショートキーを使用するとまとめて処理ができることもとても役に立つと思いました。
5	統計解析ソフトの使用方法
6	普段、使用している内容がクリアになった。
7	JMP使用法、
8	実際のデータを扱いながらのセミナーでよかった。
9	選択解除の仕方やグラフの張り付け方。ちょっとしたことでよくわからず時間をロスしていたので助かります。カプランマイヤーを書くときの縦線の付け方もテキストに書いてあったので確認してやってみます。
10	各検定の方法
11	医学研究で必要となる統計手法を中心に説明いただきました。
12	JMPに関して全くの初心者だったので、基本的な操作方法から説明していただきとても役に立ちました。

5. 本日のセミナーの中で、もっと詳しく説明を開きたかった内容や、難しいと感じた内容をお聞かせください。

Actio

[View 9 Responses](#)

1	個別対応の時間をもっと設けて頂きたい
2	分散分析、post-hoc検定の選択方法
3	特にはありません。
4	多変量解析
5	ロジスティック回帰分析やカプランマイヤーの詳細が知りたい。
6	薬剤間における副作用発生頻度に関するJMP使用方法
7	統計学的知識なく、どの機能を扱えばいいのかが問題です。
8	とりあえず今のところなし
9	多重比較に関する方法をもう少しゆっくりお聞きしたかったです。

6. 今回のセミナーについて改善するべき点がありましたらご記入ください。(セミナーの運営面・セミナーの内容・配布資料など、どんなことでも構いません。)

Actio

[View 9 Responses](#)

1	もっと頻回に来て下さい
2	スクリーンが見にくい席がある
3	特にはありません。
4	特にないです。
5	もっと時間が長くてもいいから幾つか解析を行いたい
6	特にございません。
7	特になし
8	後半部分も受講したかった
9	特にありません。

7. 臨床研究センターにて、今後、開催して欲しいセミナー等がありましたら、具体的な内容をご記入ください。また、開催曜日や時間帯などについてもご希望があればお聞かせください。

Actio

[View 8 Responses](#)

1	検定や統計手法と論文や学会発表時の表現方法
2	結局のところは、講習会というよりは、使用している中で困ったところを個別に具体的に指導していただくような機会を作っていただくのが医学部や大学院生には現実的だと思います。もしくは、大学院の講義に取り入れるわけにはならないでしょうか。また、大学院生や医師に普及するよう安価に、もしくは無償で入手できるようにしてはいただけませんか？わたしは幸い科研費で
3	購入しましたが10万円以上というのは個人で購入するにはとても高価です。
4	JUMP 講習会 part2 SPSS 講習会
5	統計解析の手法
	JMP 中級セミナー

6	再び、end note のセミナーをお願い致します。
7	院内で JMP を free でインストールできると、少ない研究費を他に回すことができるので是非お願いしたい。
8	プロジェクト管理、データマネージメント、タイムマネージメント

「EndNote X4」セミナー 参加者アンケート

Survey Status: Closed Launched: 11/10/2011 6:28 PM Closed: 12/20/2011 4:59 PM

1. 本日のセミナーの全体的な満足度をお聞かせ下さい。 Active

満足		4	57%
どちらかといえば満足		3	43%
どちらかといえば不満足		0	0%
不満足		0	0%
Total		7	100%

2. 今回のセミナー情報は、どのように入手されましたか？（受講するきっかけとなったお知らせ方法を、ひとつ選択してください） Active

医学部附属臨床研究センター（KRCO）からの一斉送信メール（職員・学生あての一斉送信）		1	14%
医学部附属臨床研究センター（KRCO）からの一斉送信メール（過去の受講者あての一斉送信）		0	0%
北里大学大学院医療系研究科・学生への一斉送信メール（特別講義扱いとなったお知らせメール）		0	0%
医学部附属臨床研究センター（KRCO）のホームページ上のお知らせ		0	0%
EBM関連のメーリングリスト		0	0%
北里大学・病院内の掲示ポスター		0	0%
知人からのお知らせ「一斉送信メール」転送による紹介		0	0%
医学部附属臨床研究センター（KRCO）スタッフからの紹介		5	71%
その他		1	14%
Total		7	100%

3. 臨床研究に関して、どのようなお立場でいらっしゃるかをお聞かせください。（複数選択可） Active

研究計画書（プロトコル）作成者		1	14%
研究対象者の治療や対象者データ収集に関わる医師		1	14%
研究対象者の治療や対象者データ収集に関わるコメディカルスタッフ		0	0%
統計解析・分析担当者		0	0%
学会発表担当者		0	0%
論文執筆担当者（筆頭著者として）		0	0%
論文執筆担当者（著者の指導者として）		0	0%
研究事務局統括マネージメント担当者		0	0%
研究事務局事務担当者		2	29%
データ入力作業		2	29%
ランダム割付事務局スタッフ		1	14%
研究対象者		0	0%
臨床研究に携わった経験はない		1	14%
その他（上記以外の役割で臨床研究に参加）		1	14%

4. 今回のセミナーの中で、「後にたつと思った内容」を記入してください。 Active

[View 7 Responses](#)

1	自動的にPDFを見つけてもらえるシステム
2	endo noteの使い方 論文の修正
3	基礎的な使い方がわかりました。今後、使用しつつ勉強していきたいと思えます。
4	科学研究費の事務申請書類作成の際に役立ちそう
5	楽しかったです。
6	エンドノートは、まるっきり初めてでした。文献検索することは、めったにないですが、今後トライしてみたいです。
7	科研費、厚科研の申請書などの作成時に役立つ

5. 本日のセミナーの中で、もっと詳しく説明を開きたかった内容や、難しいと感じた内容をお聞かせください。

Actio

[View 6 Responses](#)

1	古いバージョンとのコンバージョン
2	スライドショーが進みすぎて遅れてしまうことがあった。
3	初めて見る画面なので、用語やアイコンの場所が分かりにくかった。
4	参考文献が楽になると思います。
5	論文のお手伝いをするチャンスがあればいいのですが・・・
6	具体的な部分が1回では覚えにくい

6. 今回のセミナーについて改善するべき点がありましたらご記入ください。（セミナーの運営面・セミナーの内容・配布資料など、どんなことでも構いません。）

Actio

[View 5 Responses](#)

1	今回に関しては、音が聞こえにくかった。ヘッドホンがあるといいですね
2	音声が聞き取りにくい場合があります
3	特になし
4	ちょっと早いかな
5	進行が早い時があった。

7. 今後EndNoteに追加して欲しいと思う機能がありましたらご記入ください。

Actio

[View 2 Responses](#)

1	日本語バージョン
2	特になし

8. 今回は「入門コース」としての開催でしたが、「EndNote X4」セミナー（中級コース）の開催があれば参加しますか？

Actio

Yes	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #e67e22;"></div>	7	100%
No		0	0%
Total		7	100%

9. 臨床研究センターにて、今後、開催して欲しいセミナー等がありましたら、具体的な内容をご記入ください。また、開催曜日や時間帯などについてもご希望があればお聞かせください。

Actio

[View 3 Responses](#)

1	特になし
2	
3	一回では、なかなか自分のものにできないので、わかんないことがあったときは、いつでも対応していただけるのですか

初学者のための臨床研究支援講座(11) 医学統計セミナー出張講義 (2011.12.21)

1. 本日のセミナーの全体的な満足度をお聞かせ下さい。 Action

満足		2	13%
どちらかといえば満足		6	40%
どちらかといえば不満足		6	40%
不満足		1	7%
Total		15	100%

2. 今回のセミナー情報は、どのように入手されましたか？（受講するきっかけとなったお知らせ方法を、ひとつ選択してください） Action

医学部附属臨床研究センター（KRCO）からの職員・学生あての一斉送信メール		1	7%
医学部附属臨床研究センター（KRCO）からの過去の受講者あての一斉送信メール		0	0%
北里大学大学院医療系研究科・学生あての一斉送信メール		0	0%
医学部附属臨床研究センター（KRCO）のホームページ上のお知らせ		1	7%
EBM関連のメーリングリスト		0	0%
北里大学・病院内の掲示ポスター		0	0%
知人・同僚からの紹介		4	27%
医学部附属臨床研究センター（KRCO）スタッフからの紹介		1	7%
その他 View Responses		8	53%
Total		15	100%

3. 臨床研究に関して、どのようなお立場でいらっしゃるかをお聞かせください。（複数選択可） Action

研究計画書（プロトコル）作成者		1	7%
研究対象者の治療や対象者データ収集に関わる医師		6	40%
研究対象者の治療や対象者データ収集に関わるコメディカルスタッフ		1	7%
統計解析・分析担当者		2	13%
学会発表担当者		1	7%
論文執筆担当者（筆頭著者として）		5	33%
論文執筆担当者（著者の指導者として）		1	7%
研究事務局統括マネジメント担当者		0	0%
研究事務局事務担当者		0	0%
データ入力作業		1	7%
ランダム割付事務局スタッフ		1	7%
研究対象者（被験者）		0	0%
臨床研究に携わった経験はない		2	13%
その他（上記以外の役割で臨床研究に参加） View Responses		2	13%

4. 今回のセミナーの中で、「役にたつと思った内容」を記入してください。

[View 12 Responses](#)

1	どういときにどうい統計をを使うわかった。
2	JUMPの使用方法
3	どのい統計をを使ったらよいかといことがたいわかった。
4	分析法の細い部分が理解できました。変数効果など知らないことを知ることができた。
5	stataをほとんど触ったことがなかったため、それを触れたことおよびcommandの意義。JMPは以前使用した経験があり、しかも現在臨床統計解析に使用していますが、その意味について知ることができました。
6	短時間でしたが、入力方法がよくわかりました。
7	JAMP STATの使用方法が理解できた
8	操作方法
9	Jump stataの概要。
10	統計ソフトの特徴、解析の手順の基本を学べた。
11	JMPの解析モデルがインターネットから入手できること
12	統計ソフトに触れることにより具体的にどのい事が出るのかを知ることができた。

5. 本日のセミナーの中で、もっと詳しく説明を聞きたかった内容や、難しいと感じた内容をお聞かせください。

[View 12 Responses](#)

1	jmp少しむずかしかった。
2	stataは難しすぎてついていけなかった。
3	結果の数値の読み方(解釈の方法)が、よくわからなかった。
4	統計は細かな事が多く概要をつかむのがむずかしいのは分かっておりますが、医療従事者に必要な根本となる簡単な基礎をぜひ授業頂きたいです。
5	統計学自体をまだまだ勉強不足であるため、統計学手法の使用法についてというのが難しかったです。もう少し勉強してきます。
6	Stataの統計結果の見方をもう少し詳しく教えていただきたいです。統計方法の選択も教えていただければありがたいです。
7	統計の基本
8	聞きたかった内容...操作方法とdetaの読み取り方 難しいと感じた内容...statの操作方法、detaの読み取り
9	stataは難しい。
10	どんな時にどんな検定を選択すべきか
11	どのように解析したいか、具体的な目的を持っているともっと理解できたように思う。ソフトの利用法は慣れもあるので、何度も利用しながら学びたい。
12	得られた統計結果にはどのい意味があり、どこに重点を置き見たいのかが、もう少し聞きたかった。

6. 今回のセミナーについて改善するべき点がありましたらご記入ください。(セミナーの運営面・セミナーの内容・配布資料など、どんなことでも構いません。)

[View 9 Responses](#)

1	とくにありません。
2	時間が短いのとボリュームが多すぎた
3	特に問題ないと思います。
4	どこを見るのかを教えてください どの値が有意差なのか
5	説明が早かったので、説明されている複数の資料から相当する内容を追いかけることができなかった。
6	graph pad prismの講習会を希望します。
7	習熟度の段階を経たいかもです。解析の基礎の理解が少ないもので、説明を負うのが精いっぱいでした。
8	ソフトの使い方よりも何が出来るかが重要
9	得られたデータの解釈方法をご教授願いたい。

7. 臨床研究センターにて、今後、開催して欲しいセミナー等がありましたら、具体的な内容をご記入ください。また、開催曜日や時間帯などについてもご希望があればお聞かせください。

[View 8 Responses](#)

1	研究ごとにどの統計ソフト、方法で行った方がいいかの説明、JUMPのセミナー 水曜日に開催希望です
2	jmpを使用しているのは是非、自分に必要な所を重点的に理解したいと思っています。
3	再度SPSSもしくは、Graph Pad Prism等の講義があればいただければ幸いです。
4	統計の基本
5	また統計に関して勉強不足のため、「ソフトの具体的な使用方法」ではなく、「こういうときはこういう統計法を」といった、基本的な部分を詳しく教えていただきたいです。
6	graph pad prismの講習会を希望します。
7	プリズムの使用法
8	私はGraphPadPRISMを購入したので、そちらの講義がありましたら助かります。

近藤先生「メジャー誌を10分で深読みする！」アンケート

1. 今回の講演開催情報をどこで知りましたか？		Action:	
A. 職場の同僚や先輩から聞いた		1	7%
B. 送信されて来たお知らせメールから		15	100%
C. 北里臨床研究センターのHPから		0	0%
D. その他 具体的に View Responses		1	7%

2. 講義に参加した理由は何ですか？		Action:	
A. 将来自分の勉学、研究または仕事に役立つと思ったから		13	87%
B. 臨床研究の実施に役立つと思ったから		5	33%
C. 日常診療に役立つと思ったから		1	7%
D. 上司に勧められたため		0	0%
E. その他 具体的に		0	0%

3. あなたのご専門（またはお仕事）は何ですか？		Action:	
A. 統計学関連の専門家		0	0%
B. 疫学関連の専門家		1	7%
C. データマネジメント		0	0%
D. 臨床医		4	27%
E. コメディカルスタッフ		6	40%
F. メディカルライティング・翻訳・出版関連の専門家		2	13%
G. 基礎研究領域の研究者		0	0%
H. 薬剤師		1	7%
I. 新薬開発に関わる専門家		0	0%
J. その他 具体的に View Responses		2	13%

4. 講師の話し方はどうでしたか？		Action:	
A. 非常に明瞭だった		8	53%
B. 明瞭だった		6	40%
C. どちらとも言えない		1	7%
D. 少し聞き取りにくかった		0	0%
E. 非常に聞き取りにくかった		0	0%
F. その他、具体的に		0	0%
Total		15	100%

5. この講演の内容をどの程度理解できましたか？		Action:	
A. 全部理解できた (100%)		5	33%
B. ほとんど理解できた (75%)		8	53%
C. 半分くらい理解できた (50%)		1	7%
D. あまり理解できなかった (25%-50%)		1	7%
E. まったく理解できなかった (<25%)		0	0%
Total		15	100%

6. 理解出来なかったことについて、理由を選んでください。

Action

A. 論文を読む時間が短かった		1	10%
B. 英語論文を読むことが難しかったため		2	20%
C. 臨床研究の基礎知識が足りないため		4	40%
D. その他、具体的に View Responses		3	30%
Total		10	100%

その他、具体的に

1	α -error, β -error などについては何度学んでもあやしい。(自分がサンプルサイズ推定も行うが)
2	統計知識の不足
3	統計解析の基礎知識が足りないため。

7. この講演を総合的に評価してください

Action

A. 非常に良かった		10	67%
B. まあまあ良かった		5	33%
C. 普通だった		0	0%
D. (あまり)良くなかった		0	0%
E. (あまり)良くなかった理由を具体的に		0	0%

8. 今回の講演、又は今後の講演/講義について、興味をもったこと、情報公開、時間、内容、講師について等、ご意見、ご感想、アドバイスなどございましたら、ご遠慮なくお書きください。

Action

[View 8 Responses](#)

1	Journal Clubを主催する気がないが、今回のような要点をつかみ短時間で行われるJournal Clubが毎週開催されると面白いと思う。
2	もう少し指示してほしい。
3	わかりやすい例をとり上げてくださり「考究の最初から読む」というのは「なるほど」と思いました。また、疫学のエッセンス、internal validity, biasなどの再認識もさせて頂きました。ありがとうございました。
4	開始時間は夕方～夜を希望します。
5	臨床研究に必要な知識が不足しているため、今回みたいに分かりやすく短時間で理解できる統計講義を行ってほしいです。
6	文献を読む順番を間違えていたことに気づきました。わかりやすく良いご講義でした。ありがとうございます。統計の読み方や適切な解析法の選び方について知りたいです。
7	論文の読み方のコツが理解でき、出席して良かったと思えました。現在、ガイドライン作成のための論文を何冊も読んでいますが、この方法ならば仕事もはかどりそうです。ありがとうございました。
8	論文の読み方はずっと前から知っていたが、基本的なことすぎて気づけなかったのと、そもそも留めるものなのも知らず、このようなアンケートのときも書けなかった。しかし、聞いて大変参考になったので、これからもお願いしたい。

森實先生「プロペンシテイスコアを使い論文を書く」アンケート

1. 今回の講演開催情報をどこで知りましたか？

Action

A. 職場の同僚や先輩から聞いた		5	38%
B. 送信されて来たお知らせメールから		9	69%
C. 北里臨床研究センターのHPから		1	8%
D. その他 具体的に		0	0%

2. 講義に参加した理由は何ですか？

Action

A. 将来自分の勉学、研究または仕事に役立つと思ったから		11	85%
B. 臨床研究の実施に役立つと思ったから		5	38%
C. 日常診療に役立つと思ったから		0	0%
D. 上司に勧められたため		0	0%
E. その他 具体的に		0	0%

3. あなたのご専門（またはお仕事）は何ですか？			Action	
A. 統計学関連の専門家		0	0%	
B. 疫学関連の専門家		2	15%	
C. データマネジメント		1	8%	
D. 臨床医		6	46%	
E. コメディカルスタッフ		4	31%	
F. メディカルライティング・翻訳・出版関連の専門家		1	8%	
G. 基礎研究領域の研究者		0	0%	
H. 薬剤師		0	0%	
I. 新薬開発に関わる専門家		0	0%	
J. その他 具体的に View Responses		1	8%	

4. 講師の話し方はどうでしたか？			Action	
A. 非常に明瞭だった		6	46%	
B. 明瞭だった		7	54%	
C. どちらとも言えない		0	0%	
D. 少し聞き取りにくかった		0	0%	
E. 非常に聞き取りにくかった		0	0%	
F. その他、具体的に		0	0%	
Total		13	100%	

5. この講演の内容をどの程度理解できましたか？			Action	
A. 全部理解できた（100%）		1	8%	
B. ほとんど理解できた（75%）		5	38%	
C. 半分くらい理解できた（50%）		5	38%	
D. あまり理解できなかった（25%-50%）		2	15%	
E. まったく理解できなかった（<25%）		0	0%	
Total		13	100%	





6. 理解出来なかったことについて、理由を選んでください。			Action	
A. 論文を読む時間が短かった		0	0%	
B. 英語論文を読むことが難しかったため		0	0%	
C. 臨床研究の基礎知識が足りないため		3	33%	
D. その他、具体的に View Responses		6	67%	
Total		9	100%	

その他、具体的に

1	具体例が少なかったと思う。
2	itibuno
3	PSに関する事前学習が不足していたため。
4	自分には内容が高度だった。
5	詳しく調べる必要があるため。
6	自分に専門知識が少なく、演者のはなしに十分についていくことができなかった。

7. この講演を総合的に評価してください

Actic

A. 非常に良かった		4	33%
B. まあまあ良かった		6	50%
C. 普通だった		2	17%
D. (あまり)良くなかった		1	8%
E. (あまり)良くなかった理由を具体的に		0	0%

8. 今回の講演、又は今後の講演/講義について、興味をもったこと、情報公開、時間、内容、講師について等、ご意見、ご感想、アドバイスなどございましたら、ご遠慮なくお書きください。

Actic

[View 5 Responses](#)

1	マルコフモデルについての講義を今後期待。
2	質問に丁寧に答えて下さりありがとうございました。
3	Jmpをインストール出来るようにしてほしい。
4	とても勉強になりました。ありがとうございました。
5	もっと臨床的研究に役立つにはどうするのか、もっとpracticalなやり方を教えていただきたいです。他大学で普通に行われているように学内でJAMPを繋げていただきたいです。

厚生労働科学研究費補助金（医療技術実用化総合研究事業）

分担研究報告書

臨床研究に関する教育プログラムを開発するための調査
(特別講演「オミクス研究のデータ解析の現状と将来」について)

研究協力者 王 国琴 北里大学医学部附属臨床研究センター
星 佳芳 北里大学医学部衛生学
坂本 泰理 北里大学医学部附属臨床研究センター
逸見 治 北里大学医学部附属臨床研究センター
研究分担者 佐藤 敏彦 北里大学医学部附属臨床研究センター
研究代表者 相澤 好治 北里大学医学部衛生学

研究要旨

厚生労働省より、北里大学を含め、全国から10ヶ所の中核施設が選定された。北里大学医学部臨床研究センターは日本における臨床研究の質向上のため、学内治験・臨床研究推進・実施組織の整備、臨床研究に関するネットワークシステムの整備、臨床研究情報システム開発及び臨床研究に関する人材育成を目的として発足した。このような流れのなかで、4年間様々な面から、独自の経験が蓄積してきた。本研究はその国際共同試験に活躍できる人材育成のための教育システムを開発の一環として、今までの臨床研究に不可欠な臨床研究デザイン・生物統計学のセミナーに加え、より早期で薬品の創出に関わるより新しい、アドバンスなオミクスデータ解析においてアンケート調査を実施し、今後、更に質の良い臨床研究に関するセミナー、教育プログラムの開発とその必要性や有用性を検討した。

【研究目的】

日本は国内で独自に試験を行ってきたという歴史的背景から、国際共同試験の経験が少なく、試験の数が海外へ流失する「治験の空洞化」に関する危惧が示されている。そこで、厚生労働省より、効率的かつ迅速に治験・臨床研究を実施できる体制を構築することを目的とし、「新たな治験活性化5

カ年計画」(平成19年3月30日文科科学省・厚生労働省)を実施された。日本全国から10ヶ所の中核施設が選出され、日本国内の臨床試験を始め、国際共同試験を推進するためにインフラ整備などを構築している。北里大学はその一つとして選定された。北里大学医学部附属臨床研究センター(KCRC: Kitasato Clinical Research

Center)は 2007 年に発足し、2008 年の 4 月に正式に開設された。医療の質向上に不可欠なエビデンスの創出、国際共同試験を目指し、治験及び臨床研究を推進するため、英語で行われる臨床研究に関する教育プログラムが必要であると考えられる。本研究は、これまで行われた臨床研究のデザイン・実施・解析に関する教育プログラムを開催した経験を基に、臨床研究シーズの創出に不可欠なより早期的段階に関するオミクス研究のデータ解析を学ぶための特別講演を開催し、多くの研究者、行政、企業に提供する際のセミナーの運営、実施方法や、提供内容を図り、より良い英語教育パッケージの開発を目的としアンケート調査を実施した。

【研究方法】

1. セミナーについての一般情報

<http://www.kitasato-crc.org/news/index.html> (添付資料 1)

①共催

北里大学医学部附属臨床研究センター
国立がん研究センター研究所・予防研究部

②場所

国立がん研究センター研究所・1 階セミナー
ールーム

②コース名

オミクス研究のためのデータ解析の現状と
将来

③講師

Yu Shyr, Ph.D.
Director, Vanderbilt Center for
Quantitative Sciences
Associate Director, Vanderbilt-Ingram
Cancer Center

Ingram Distinguished Professor of
Cancer Research
Professor, Department of Biostatistics,
Biomedical Informatics,
Cancer Biology, Preventive Medicine
Vanderbilt University School of Medicine

④開催日時

開催日 : 2012 年 01 月 26 日

開催時間 : 11 : 00 ~ 12 : 00

⑤セミナーの概要

全ヒトゲノムの解読に続き、ゲノミクス
やプロテオミクスそしてメタボロミクス
(メタボローム解析)の研究が進んでいる
なか、膨大な情報を網羅的な解析しなけれ
ばならないという特徴があるため、必要に
応じて、バイオインフォマティクスやゲノ
ムインフォマティクスそしてデータベース
やインターネットなどの IT を駆使して取
り込む必要が生じ、これまでとは異なるデ
ータ解析手法が必要になる。本セミナーは、
莫大な個人情報を取り扱うオミクス研究の
可能性と課題を紹介する。

⑥受講料

受講料は無料。

⑦対象者及び定員

北里大学職員・学生、がん研究センター
職員・学生、他大学臨床研究に関わるアカ
デミックスタッフ、企業の臨床試験担当ス
タッフを対象とし、参加申し込みの先着順
から選出した。定員は 50 名 (がん研究セン
ター内部参加者を除く)

2. アンケート調査の内容と実施について

①内容

アンケートは無記名形式であり、調査対
象の一般情報、セミナー開催の告知方法、
セミナーの内容、講師の評価、及び意見・

感想・希望等についての8項目で構成した。英語と日本語両方作成し、回答はシングル選択、複数選択、自由記入の形で行った(添付資料2)。

②実施方法

アンケートへの参加は各自の自由意思とし、特別講演終了後にアンケート用紙を配布し実施した。その後に回答結果を集計した。

C. 研究結果

1. 対象

講演の定員はがん研究センター内部の参加者を除いて、50人と設定したが、講演の前日、48名の申込みがあった時点で締め切り、がん研究センター内部の当日参加16と合わせ、キャンセルを除いて、最終的に講演参加者は48名であった。全員にアンケートへの協力を依頼し、最終的にアンケート回答者は40名であった。

2. 結果 (添付資料3)

「講演開催情報をどこで知りましたか？」の質問に対して、42%が「講演前の一斉送信のお知らせメールから」、38%が「職場の同僚や先輩から」、12%が「国立がんセンター内部お知らせポスターから」、8%が「北里大学臨床研究センターのホームページから」と回答した。

参加者は、疫学関連専門家、統計の専門家、臨床医、コメディカルスタッフ、薬剤師(58%)の他、基礎研究に関する研究者は22%、さらに新薬開発に関する専門家、Pharmacometrics、Bioinformatics、Business developmentに関する専門家は38%であった。参加動機として、「将来自分の勉学、研究または仕事に役に立つと思ったから」と回答した受講者は72%であり、

オミクスデータ解析の原理を知りたい受講者は31%であった。

講師の評価について、講義中の話し方について、明瞭と回答した受講者は95%であった。

「講義の内容をどれくらい理解出来たか」の質問に対して、13%は全部理解が出来たと回答し、49%はほとんど理解出来た、31%は半分しか理解できた、8%はあまり理解出来なかったと回答した。理解できなかったことについての理由に対して、67%は「オミクス研究の基礎知識が足りなかった」と回答し、「オミクスデータの解析が理解できなかった」や、「限られた時間に内容が多かった」と、それぞれ10%であった。

講義を総合的に「非常に良かった」、「良かった」と回答した受講者は87%であった。

自由記述では、「オミクス研究のデータ解析を沢山の事例を用いて、さらに深く説明してほしい」という意見が多かった。

D. 考察

今回の講演は今までのセミナーと3点大きい違いがある。1) 時間について、これまでのセミナーは数日間の集中コースとして開催されたことに対して、今回のセミナーでは1時間の特別講演として開催された。2) 内容として、今までのセミナーは治験・臨床研究に関する古典的デザイン・データ解析を中心となったが、今回の講演では、より早期的な段階で得られた遺伝的情報を網羅的に解析することであった。3) 内容の難易度についても、今回の講演はオミクスデータの扱いとなり、これまで開催されたセミナーの中では最も複雑な内容であった。以上の3点から本研究は、これまで開

催された特別公開セミナーシリーズの経験を基に、よりアドバンスドデータ解析方法を紹介する教育プログラムを提供する際、有用な情報を得ることが出来た。

今回の講演の受講者は今までのセミナーに比べ、基礎研究の研究者、薬品開発の専門家、Pharmacometrics、Bioinformaticsに関する専門家の割合が多く、本セミナーの内容によるものと考えられる。セミナー内容の理解度について、今までのセミナーに比べ、低い傾向があった。理解できなかった理由の77%はオミクスデータの基礎知識が無いことや、オミクス解析のこと理解できなかったことであり、本セミナーは一時間の短い時間の中で、比較的新し知識を扱われたこと、難しい内容であることなどが考えられた。それを背景に、講師の話方について、95%明瞭と回答され、講演の満足度が77%であり、高く評価されたと考えられる。一方、今回の講演は初めて一般の研究者は熟知していないオミクスデータの解析と題し開催されたこととなり、受講者の背景知識を特定していないままで実施することにより、一部の受講者にとって理解が困難であったり、一方優しすぎたりというバラツキがあることがアンケートの結果から分かった。今後この分野に関するセミナーを提供する際に有用な根拠が得たと考えられた。

受講者全体の理解度を高めるためには講義内容の細かいレベル設定や、受講者の参加基準の設定をするなどの必要性も考えら

れた。

E. 結論

日本発の革新的な医薬品の創出に向け、今まで行われてきた臨床研究は勿論、これから、医学と他の研究分野の連携を取りながら開発することも重要である。それを背景に教育プログラムを開発する際、古典的な臨床研究デザイン・データ解析などの内容を取り込むと同時に、膨大なデータを網羅的に扱う場合などに、必要となる新しい研究手法や、解析方法を提供しなくてはならない。そのような新しく、且アドバンスドセミナーを開催する際、一般研究者向けの入門編と専門家向けの上級編を分けて設定する必要があると考えられた。また、講義内容をより深く理解してもらうために、今後は事前の資料配布や、講義ビデオを撮影するなどしてe-learning systemを開発し、様々な機会を設ける必要があると考えられた。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

添付資料1. セミナー情報

厚生労働省科学研究費補助金医療技術実用化総合研究事業 北里大学医学部附属臨床研究センター特別講演

==International program of clinical research==

【テーマ】 オミクス研究のためのデータ解析の現状と将来

【日時】 2012年1月26日(木) 11:00-12:00

【場所】 国立がん研究センター研究所・1階セミナールーム(東京都中央区築地 5-1-1)

【講師】 Yu Shyr, Ph.D.

Director, Vanderbilt Center for Quantitative Sciences

Associate Director, Vanderbilt-Ingram Cancer Center

Ingram Distinguished Professor of Cancer Research

Professor, Department of Biostatistics, Biomedical Informatics,

Cancer Biology, Preventive Medicine

Vanderbilt University School of Medicine

【講演内容】

全ヒトゲノムの解読に続き、ゲノミクスやプロテオミクスそしてメタボロミクス(メタボローム解析)の研究が進んでいます。これらは癌細胞内の生化学的変化を多角的にとらえることにより、新しいマーカーを発見したり、手術、化学療法による効果を治療前に予測し、“がん治療の個別化”を実施する事の可能性も期待できるものです。

このようなオミクス研究は膨大な情報を網羅的な解析しなければならないという特徴があるため、必要に応じて、バイオインフォマティクスやゲノムインフォマティクスそしてデータベースやインターネットなどのITを駆使して取り込む必要が生じ、これまでとは異なるデータ解析手法が必要になります。

講師のYu Shyr先生は米国でも有数の生物統計の専門家であり、バンダービルト大学のがんセンターの生物統計部門を主宰してから、部門を年々拡張し、昨年は新たにオミクス研究のセンターを立ち上げました。今回は先生に今後の医薬開発研究のあり方とそれに不可欠な解析手法をお話いただきます。新たな疫学研究を考えていく上でも有益な講演になるでしょう。※ 講演は英語で行い、受講料は無料です(定員:50名)

【共催】

北里大学医学部附属臨床研究センター(KCRC)/国立がん研究センター・予防研究部

【申し込み方法】

下記のサイトより登録してください↓↓↓

<http://www.zoomerang.com/Survey/WEB22EBAHVUHNZ>

【お問い合わせ先】

北里大学医学部附属臨床研究センター <<http://www.kitasato-crc.org/index.php>>

電話: 042-778-9547, 042-777-6308; メールアドレス: kcrcinfo@med.kitasato-u.ac.jp

添付資料2. アンケート内容

特別講演「オミクス研究のためのデータ解析の現状と将来」についての 無記名アンケート調査

2012/1/26

This questionnaire is anonymous so any one of you could not be identified. We hope you could give your opinion honestly and fully, which may help this special lecture to be assessed more accurately and improve our lectures in the future | このアンケートは今後より良い講演/セミナーとするために、受講者の皆様からのご意見を反映し、更なる充実を目指し実施するものです。受講者個人は特定されませんので、率直なご意見をお寄せください。

1. How did you know the Lecture? | 今回の講演開催情報をどこで知りましたか？

- A. from colleagues, professors in my company/lab | 職場の同僚や先輩から聞いた
- B. from email | 送信されて来たお知らせメールから
- C. from poster in the National Cancer Center | 国立がんセンターに掲示されたポスターから
- D. from Kitasato Clinical Research Center homepage | 北里臨床研究センターのHPから
- E. others in detail | その他 具体的に

2. What is the main reason for you to take this course? | 講義に参加した理由は何ですか？

- A. it will be of use for my study, research or work in the future | 将来自分の勉学、研究または仕事に役立つと思ったから
- B. it is useful for my present research | 臨床研究の実施に役立つと思ったか
- C. it is a topic that I am interested in | 漠然と講義の内容に興味があるため
- D. in order to know the principle in omics data analysis | オミクスデータを解析するための原則を知りたいため
- E. it is recommended by my boss/team leader | 上司に勧められたため
- F. other in detail | その他 具体的に

3. What is your specialty? | あなたのご専門（またはお仕事）は何ですか？

- A. statistician | 統計学関連の専門家
- B. clinical epidemiology | 疫学関連の専門家
- C. data management staff | データマネジメント
- D. clinician | 臨床医

- E. co-medical staff | コメディカルスタッフ
- F. medical writing/translating/publishing related staff | メディカルライティング・翻訳・出版関連の専門家
- G. researcher in basic medicine | 基礎研究領域の研究者
- H. pharmacologist | 薬剤師
- I. specialist in drug development | 新薬開発に関わる専門家
- J. others in detail | その他 具体的に

4. How about the lecturer's speaking? | 講師の話し方はどうでしたか?

- A. it was excellent. clear and easy to understand | 非常に明瞭だった
- B. average but can be understood | 明瞭だった
- C. no opinion | どちらとも言えない
- D. slightly hard to be understood | 少し聞き取りにくかった
- E. hard to understand | 非常に聞き取りにくかった
- F. other in detail | その他、具体的に

5. How did you understand the lecture? | 講演の内容をどの程度理解できましたか?

- A. totally understood | 全部理解できた (100%)
- B. well understood | ほとんど理解できた (75%)
- C. understood half of the content | 半分くらい理解できた (50%)
- D. poor understood | あまり理解できなかった (25%-50%)
- E. almost didn't understand | まったく理解できなかった(<25%)

6. Give the reason according what you don't well understand | 理解出来なかったことについて、理由を選んでください。

- A. difficulty in English | 英語が難しかったため
- B. lack of basic knowledge of Omics research | オミクス研究の基礎知識が足りないため
- C. difficulty in understanding Omics data analysis | オミクスデータの解析が理解できなかったため
- D. large volume in limited time | 限られた時間に内容が多かったため
- E. others in detail | その他 具体的に

7. Give your impression of the lecture | この講演を総合的に評価してください

- A. excellent | 非常に良かった
- B. above average | まあまあ良かった
- C. average | 普通だった
- D. below average | (あまり) 良くなかった
- E. if average or very poor, give the reason | (あまり) 良くなかった理由を具体的に

8. Please give your advice for any aspect of this lecture and our future ones . | 今回の講演、又は今後の講演/講義について、興味があったこと、情報公開、時間、内容、講師について等、ご意見、ご感想、アドバイスなどございましたら、ご遠慮なくお書きください。

～～**～～ Thank you for your cooperation ～～**～～
ご協力ありがとうございました

添付資料 3. アンケート回答結果

1. How did you know the Lecture? | 今回の講演開催情報をどこで知りましたか? Actions ▼

A. from colleagues, professors in my company/lab 職場の同僚や先輩から聞いた		15	38%
B. from email 送信されて来たお知らせメールから		17	42%
C. from poster in the National Cancer Center 国立がんセンターに掲示されたポスターから		5	12%
D. from KCRC homepage 北里臨床研究センターのHPから		3	8%
E. others その他 具体的に		0	0%

2. What is the main reason for you to take this course? | 講義に参加した理由は何ですか? Actions ▼

A. it will be of use for my study, research or work in the future 将来自分の勉強、研究または仕事に役立つと思ったから		28	72%
B. it is useful for my present research 臨床研究の実践に役立つと思ったから		4	10%
C. it is a topic that I am interested in 漠然と講義の内容に興味があるため		3	8%
D. in order to know the principle in omics data analysis オミクスデータを解析するための原則を知りたいため		12	31%
E. it is recommended by my boss/team leader 上司に勧められたため		1	3%
F. other in detail その他 具体的に		3	8%

[View Responses](#)

2. What is the main reason for you to take this course? | 講義に参加した理由は何ですか?

#	Response
1	
2	大学院生
3	I know Prof.Shyr's lecture is very interesting!

3. What is your specialty? | あなたのご専門 (またはお仕事) は何ですか? Actions ▼

A. statistician 統計学関連の専門家		6	15%
B. clinical epidemiology 疫学関連の専門家		10	25%
C. data management staff データマネジメント		2	5%
D. clinician 臨床医		2	5%
F. co-medical staff コメディカルスタッフ		0	0%
G. medical writing/translating /publishing related staff メディカルライティング・翻訳・出版関連の専門家		0	0%
H. researcher in basic medicine 基礎研究領域の研究者		9	22%
I. pharmacist 薬剤師		3	8%
J. specialist in drug development 新薬開発に関わる専門家		8	20%
H. others in detail その他 具体的に		7	18%

[View Responses](#)

3. What is your specialty? | あなたのご専門 (またはお仕事) は何ですか?

#	Response
1	pharmacometrician
2	pharmacometrician
3	graduate student
4	researcher in clinical pharmacology
5	bioinformatics
6	business development
7	comedical staff

4. How about the lecturer's speaking? | 講師の話し方はどうでしたか? Actions | ▾

A. it was excellent, clear and easy to understand 非常に明瞭だった		26	67%
B. average but can be understood 明瞭だった		11	28%
C. no opinion どちらとも言えない		0	0%
D. slightly hard to be understood 少し聞き取りにくかった		2	5%
E. hard to understand 非常に聞き取りにくかった		0	0%
F. other in detail その他、具体的に		0	0%
Total		39	100%

5. How did you understand the lecture? | 講演の内容をどの程度理解できましたか? Actions | ▾

A. totally understood 全部理解できた (100%)		5	13%
B. well understood ほとんど理解できた (75%)		19	49%
C. understood half of the content 半分くらい理解できた (50%)		12	31%
D. poor understood あまり理解できなかった (25%-50%)		3	8%
E. almost didn't understand まったく理解できなかった (<25%)		0	0%
Total		39	100%

6. Give the reason according what you don't well understand | 理解出来なかったことについて、理由を選んでください。 Actions | ▾

Difficulty in English 英語が増しかったため		4	13%
Lack of basic knowledge of Omics research オミクス研究の基礎知識が足りないため		20	67%
Difficulty in understanding Omics data analysis オミクスデータの解析が理解できなかったため		3	10%
Large volume in limited time 限られた時間に内容が多かったため		3	10%
Other, please specify その他、具体的に		0	0%
Total		30	100%

7. Give your impression of the lecturer | この講演を総合的に評価してください Actions | ▾

A. excellent 非常に良かった		20	51%
B. above average まあまあ良かった		14	36%
C. average 普通だった		5	13%
D. below average (あまり)良くなかった		0	0%
E. if average or very poor, give the reason (あまり)良くなかった理由を具体的に View Responses		1	3%

7. Give your impression of the lecturer | この講演を総合的に評価してください

#	Response
1	NGSIに関する知識をOverview出来て興味深かった

8. Please give your advice for any aspect of this lecture and our future ones. | 今回の講演、又は今後の講演/講義について、興味を持ったこと、情報公開、時間、内容、講師について等、ご意見、ご感想、アドバイスなどございましたら、ご遠慮なくお書きください。

#	Response
1	オミクス解析とタイトルにありましたが、ゲノムスだけが中心のような高がしました。もう少しオミクス解析(分析)で出ている大量なデータの解析ほうについて広く知れたかった。
2	入門編も大切だと思うし、その意味において良いLectureでした。出来れば、もう少し専門的なものを次回も期待します。
3	handoutの配布があれば良かった
4	I want to more details regarding data analysis. I know the topics emphasized today so that the true data processing is more interesting
5	very excellent lecture that was! it was great pleasure for me to join this lecture. Thank you very much! I am looking forward to seeing you, Prof. shyr!
6	Even though I had no background in this field I was able to grasp a general idea of the topic, which is an important subject in the near future. Dr Yu Shyr did an excellent job in giving info to both beginners & specialists. I hope to hear more of his lecture.
7	場所の案内が分かりにくい